

1. 平成30年3月期第3四半期連結決算概要
2. 平成30年3月期 業績予想
3. 第3四半期トピックス（参考）

※ 業績数値に係る在外子会社（WAKOU USA INC.）の換算レートは1ドル=120円で計算しております。

1. 平成30年3月期第3四半期連結決算概要
2. 平成30年3月期 業績予想
3. 第3四半期トピックス（参考）

(単位：千円)	平成29年3月期第3Q	平成30年3月期第3Q					
	実績	予想	実績	前年同期増減比較		予想同期増減比較	
				金額	増減率	金額	増減率
売上高	6,110,581	6,651,491	6,972,388	861,807	14.1%	320,897	4.8%
売上原価	4,773,395	5,225,172	5,370,252	596,857	12.5%	145,080	2.8%
売上総利益	1,337,185	1,426,318	1,602,135	264,950	19.8%	175,816	12.3%
販売管理費	1,243,936	1,278,592	1,461,332	217,396	17.5%	182,739	14.3%
営業利益	93,249	147,725	140,803	47,553	51.0%	△6,922	△4.7%
経常利益	82,112	134,591	131,722	49,610	60.4%	△2,869	△2.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△20,908	41,091	39,250	60,158	—	△1,841	△4.5%
EPS	△25.54円	—	47.94円	73.48円	—	—	—
総資産	7,707,284	—	7,770,033	62,749	0.8%	—	—
純資産	4,144,680	—	4,071,664	△73,016	△1.8%	—	—

※ 進捗率については季節的な要因を含んでおります。

※ EPSについては株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

通期予想進捗率

売上高

81.9%

営業利益

111.7%

経常利益

127.9%

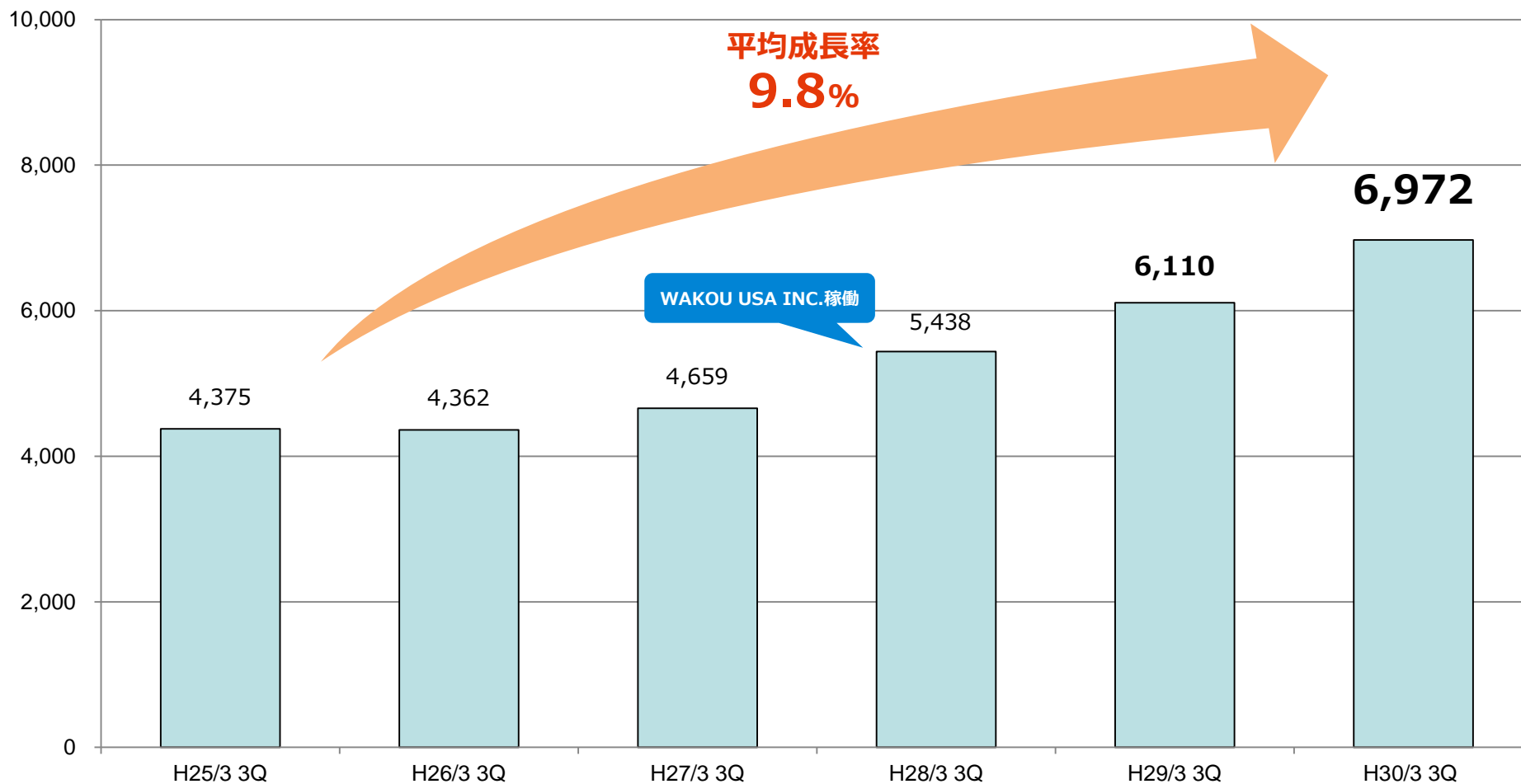


【好調理由】

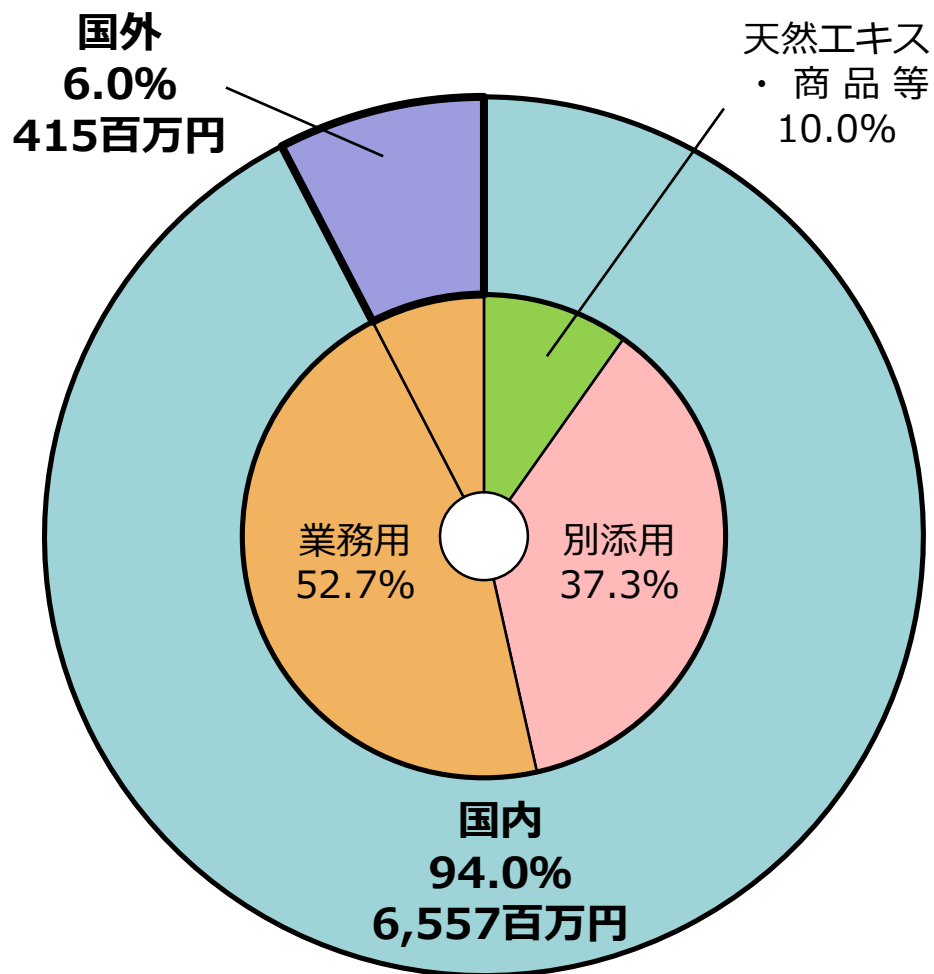
- ① 外食・中食向け業務用調味料市場の開拓
- ② 生産性向上による売上総利益率の改善
- ③ WAKOU USA INC.の本格稼働

プレゼンルームを活用した提案型営業の強化により前年比較 861百万円増（14.1%増）

(単位：百万円)



連結売上高は別添用・業務用製品が牽引（前年同期比：別添用13.7%増、業務用14.0%増）



別添用



主に内食業界向け（袋めん付属スープ等）、中食業界向け（コンビニエンスストア向け調理麺付属スープ・めんつゆ等）で使用される形態です。また、近年では大手外食チェーンの調理オペレーション効率化に伴い、小袋形態での受注が増加傾向にあります。

本格的な専門店の味をご家庭にお届けすることをモットーに味作りをしております。

業務用



主に中食業界向け（スーパーマーケットの惣菜バックヤード等）、外食業界向け（ラーメン店、レストラン、居酒屋等）で業務用として使用される形態です。

本格的な専門店の味の再現や仕込み作業軽減等、数多くの企業・繁盛店様のご要望やニーズに沿った製品作りを心掛けております。

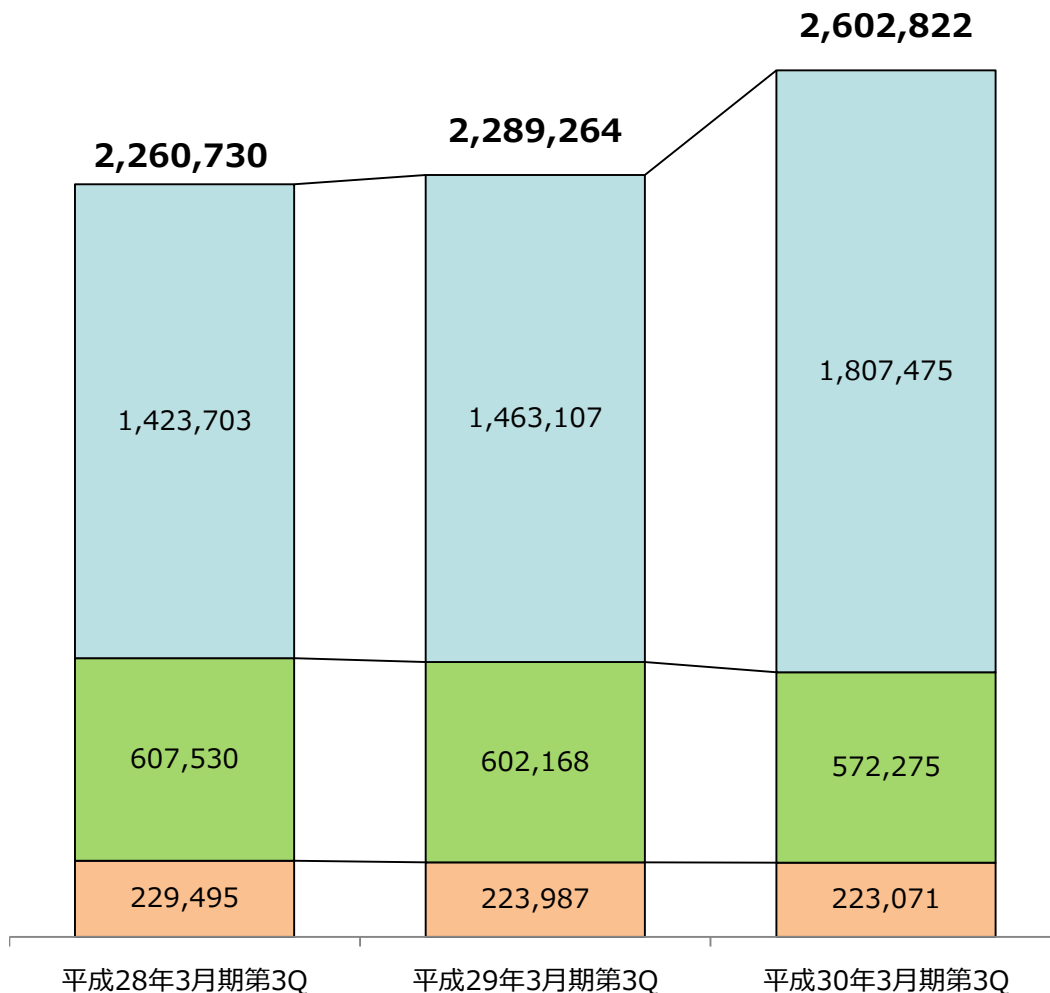
天然エキス・商品等



北海道の新鮮素材を独自の製造技術により精製した天然エキスは、原料として数多くの製品に取り入れられている他、外販もしております。

また、商品（転売品）等もこの項目に含めて表示しております。

(単位：千円)



別添用ラーメン 増減要因

【外食用 ↗】

- ・魚介系ラーメンスープ（あさり、鮭、鮪等）坦々麺、鶏塩

【内食用 ↗】

- ・チルド冷麺スープ、塩ラーメンスープ、海老塩ラーメンスープ、油そばのタレ

別添用その他 増減要因

【外食用 ↗】

- ・鍋スープ、丼のタレ、スープ類

【中食用 ↘】

- ・鍋用スープ（胡麻坦々、味噌）

【内食用 ↘】

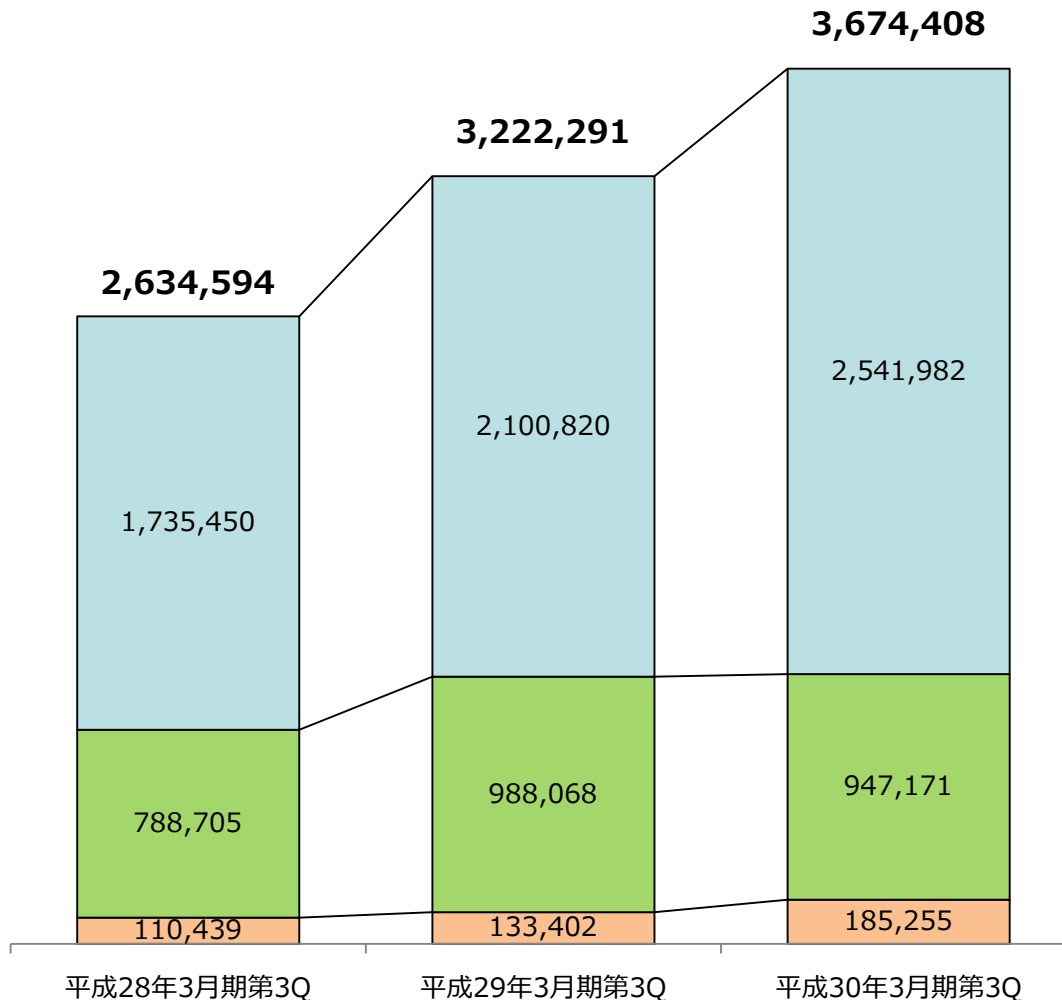
- ・パスタソース（海老、たらこ等）、冷やし中華のタレ

別添用めんつゆ 増減要因

【中食用 ↘】

- ・蕎麦つゆ

(単位：千円)



業務用ラーメン 増減要因

【外食用 ↗】

- ・豚骨、味噌ラーメンスープ、魚介系ラーメンスープ（海老、はまぐり等）、黒マー油

【中食用 ↗】

- ・味噌ラーメンスープ、辛味噌ラーメンスープ、中華そばスープ

業務用その他 増減要因

【外食用 ↗】

- ・鍋用スープ（焦がし味噌、こく旨醤油、魚介系）、海鮮系パスタソース

【中食用 ↘】

- ・炒飯等の炊きこみ用のタレ

業務用畜肉・水産 増減要因

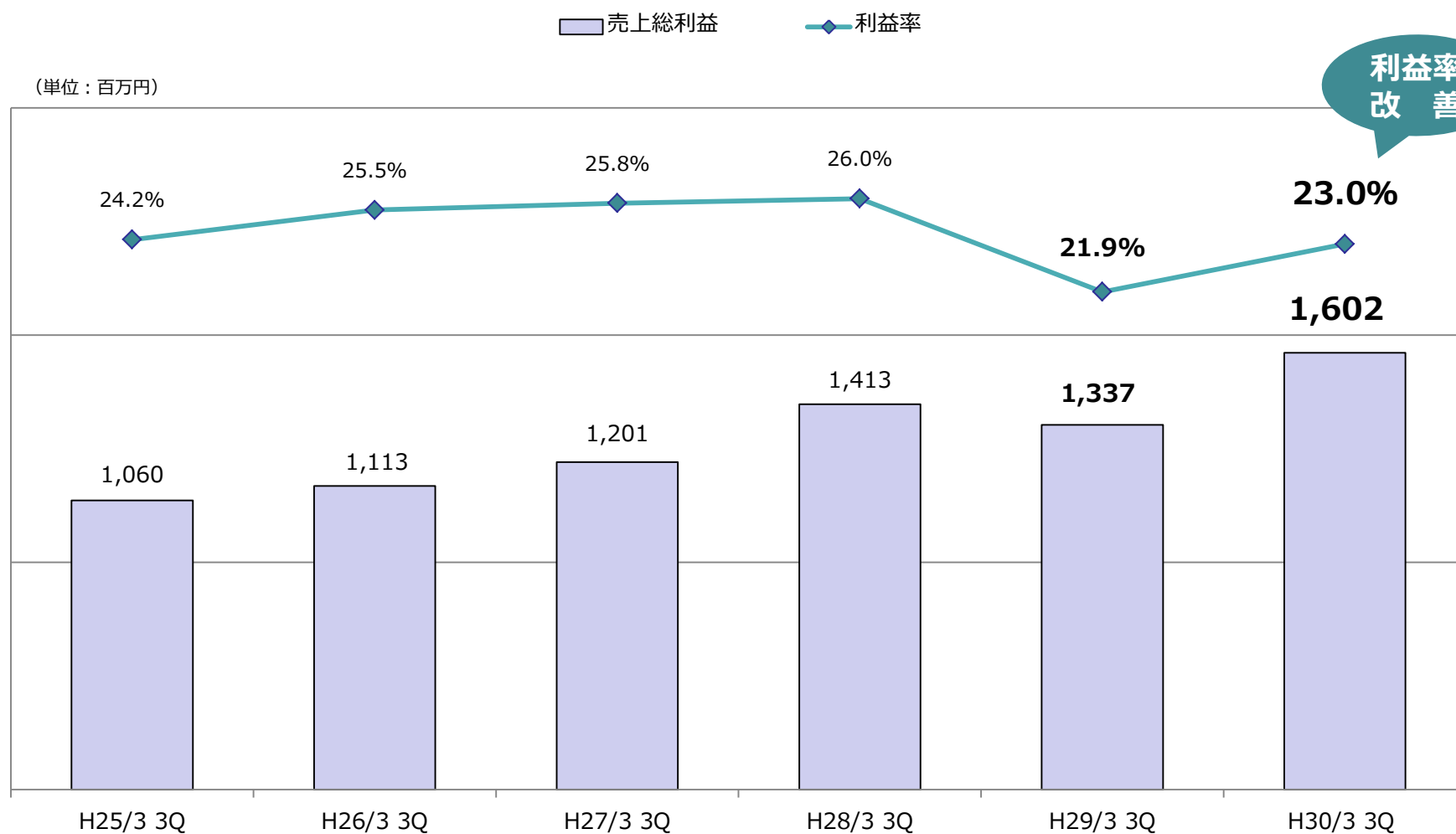
【外食用 ↗】

- ・海鮮丼のタレ、焼肉・焼き鳥のタレ

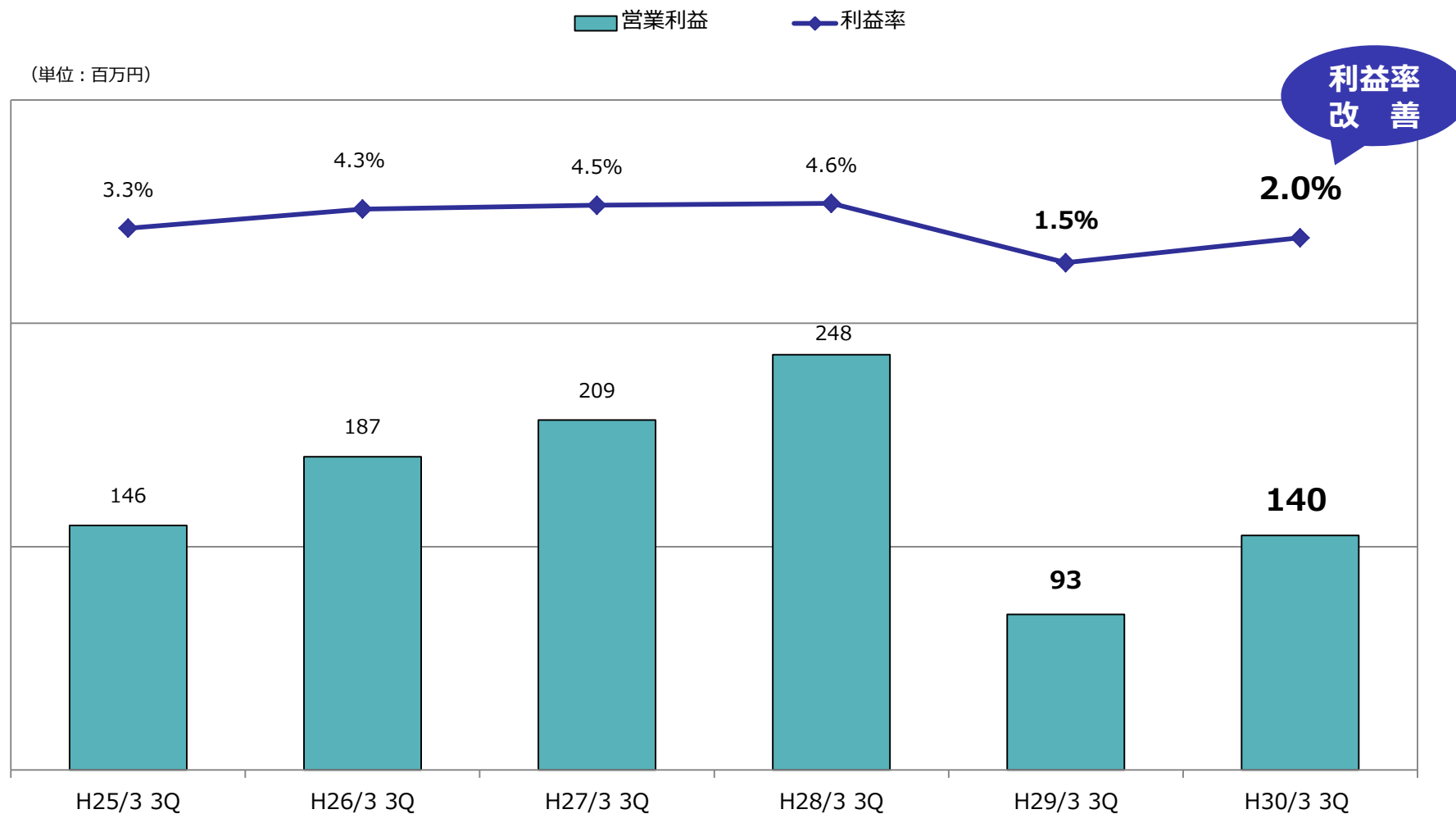
【中食用 ↗】

- ・チャーシュー調味液、丼のタレ

最新製造設備の導入、売上高増加に伴う工場稼働率の上昇により原価率抑制



販売管理費割合は増加したが売上総利益率の改善に伴い増益



主な増益・減益項目 (単位：千円)	平成29年3月期第3Q	平成30年3月期第3Q	前年同期増減比較	
	実績	実績	金額	増減率
売上総利益	1,337,185	1,602,135	264,950	19.8%
運送・保管費	322,219	414,500	92,281	28.6%
人件費	341,379	425,777	84,397	24.7%
その他販売管理費	580,337	621,054	40,716	7.0%
営業利益	93,249	140,803	47,553	51.0%

増益要因

売上総利益

： 外食・中食市場向け調味料の販売が好調。売上高861百万円増加
 ： 最新製造設備の導入、人材育成の強化により利益率が改善

減益要因

運送・保管費

： 売上増加に伴う運送費の増加
 ： 売上増加に伴う外部保管料の増加

人件費

： 拡販活動に伴う増員により人件費が増加

その他販売管理費

： 主に旅費交通費、手数料、福利厚生費等が増加

対策

原価改善プロジェクト

- ・ 生産体制の最適化
- ・ 運送方法の見直し
- ・ 外部保管方法の見直し

【営業CF】

主な増減要因（前年同期増減比較）

- ・ 四半期純利益の増加 +55百万円
- ・ 仕入等に係る支出の減少 +108百万円

【投資CF】

主な増減要因（前年同期増減比較）

- ・ 有形固定資産の取得 Δ 35百万円
- ・ 無形固定資産の取得 Δ 58百万円

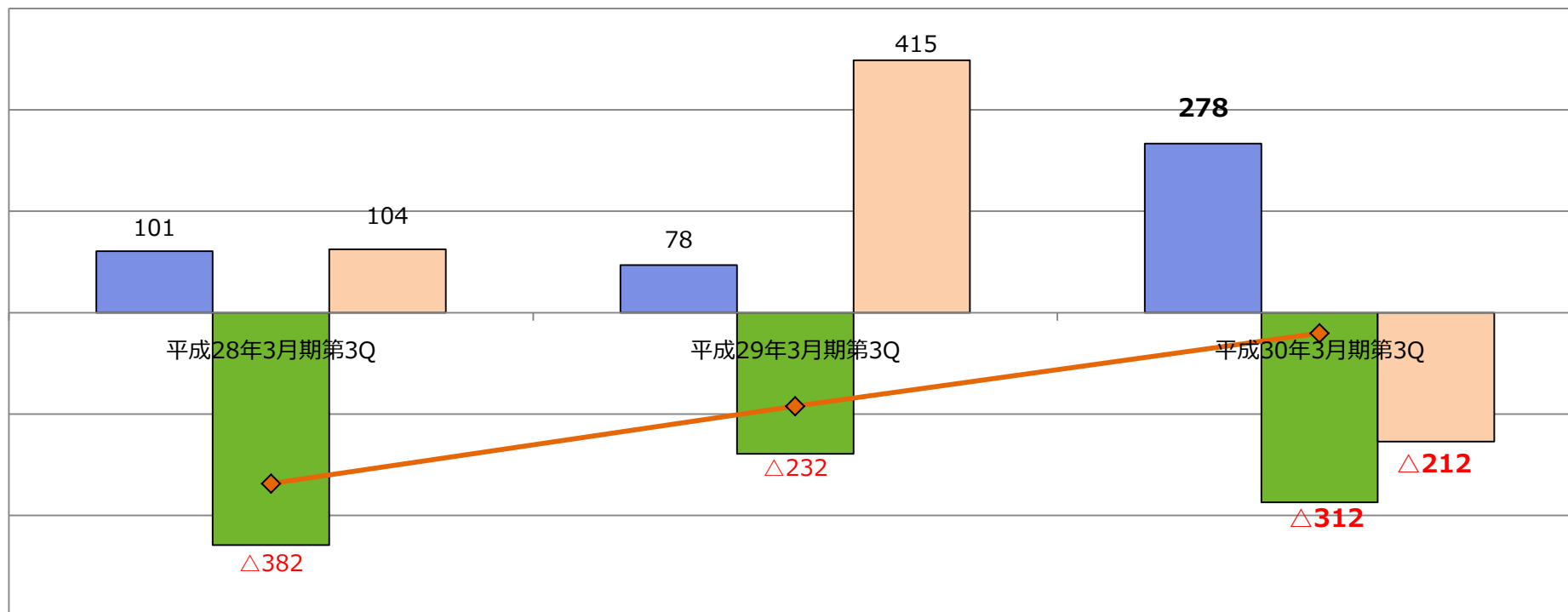
【財務CF】

主な増減要因（前年同期増減比較）

- ・ 借入れによる収入額の減少 Δ 1,400百万円
- ・ 借入金の返済額減少 +453百万円

■ 営業CF ■ 投資CF ■ 財務CF ◆ FCF

（単位：百万円）



(単位：千円)	平成29年3月期第3Q	平成30年3月期第3Q
	実績	実績
設備投資額 ※1	377,793	366,202
減価償却費	311,186	312,923
研究開発費 ※2	127,452	150,842
フリーキャッシュフロー ※3	△ 153,460	△ 34,048
有利子負債 ※4	1,741,388	1,584,582
1株当たり配当金支払額	5円 (効力発生日：平成28年6月24日)	5円 (効力発生日：平成29年6月22日)
ROE ※5	△0.5%	1.0%

前年同期増減比較	
金額	増減率
△ 11,590	△3.1%
1,737	0.6%
23,390	18.4%
119,411	—
△156,806	△9%
—	—
—	—

※1 主な設備投資：製造設備の導入 146,453千円
 ：井水設備の工事 60,000千円
 ：支店移転費用 8,676千円

※2 外食・中食向け調味料市場の開拓、拡大に伴い研究開発費が増加。

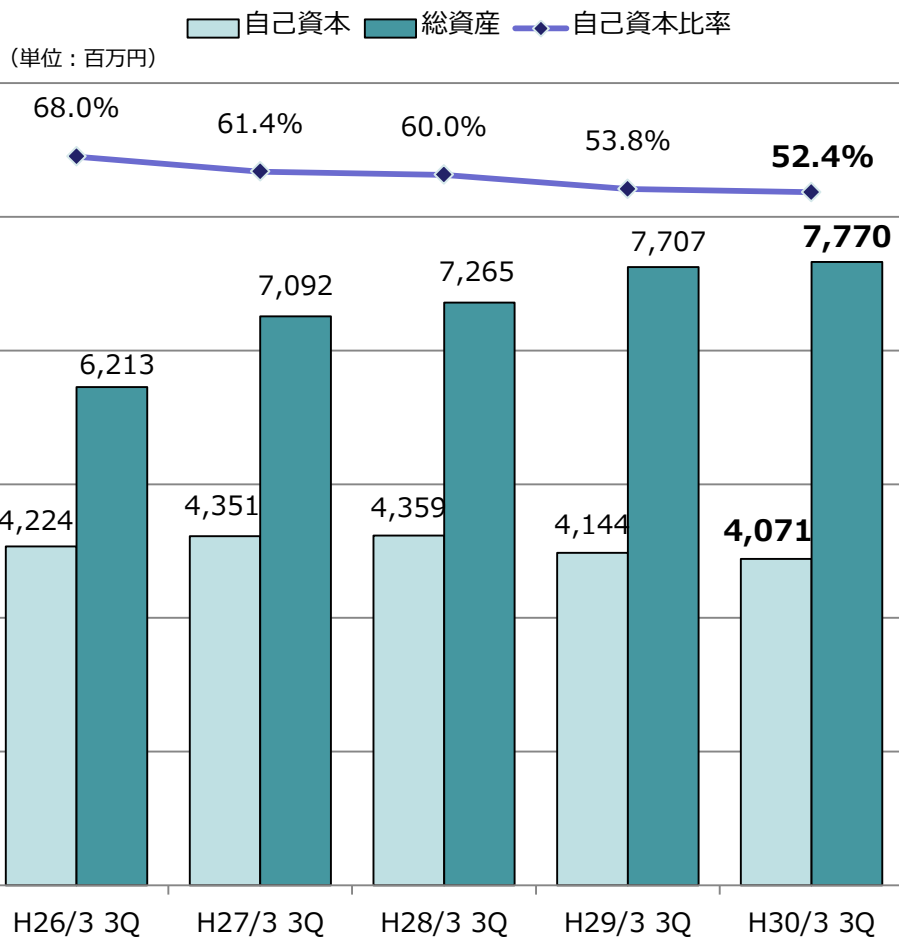
※3 フリーキャッシュフローは先行投資による減少傾向が続いたが売上増加に伴う営業CFの増加により改善。

※4 有利子負債比率の減少（△3.5%）により財務体質の改善が進む。

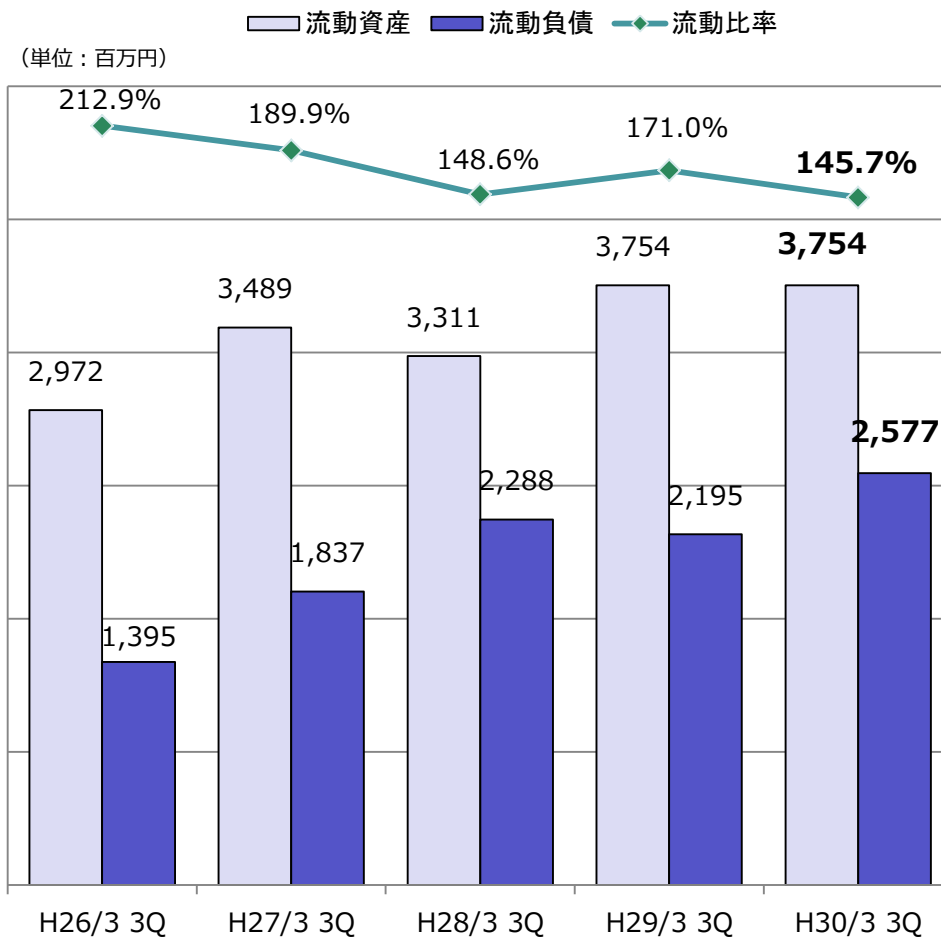
※5 ROEについては株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

先行投資に係る借入金が増加傾向にあるが、安定した財務基盤を継続しております

自己資本比率の推移



流動比率の推移



1. 平成30年3月期第3四半期連結決算概要
2. 平成30年3月期 業績予想
3. 第3四半期トピックス（参考）

(単位：百万円)	平成30年3月期第3Q		平成30年3月期（修正後）		
	実績	通期予想 進捗率	上期	下期	通期
売上高	6,972	81.9%	4,370	4,145	8,515
原価	5,370	80.4%	3,385	3,296	6,681
売上総利益	1,602	87.4%	984	850	1,834
販管費	1,461	85.6%	936	772	1,708
営業利益	140	112.0%	48	78	126
経常利益	131	128.2%	42	61	103
親会社株主に帰属する 当期純利益	39	—	△8	7	△1
1株当たり配当（円）	—	—	—	—	50円

※ 進捗率については季節的な要因を含んでおります。

※ 1株当たり配当については株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

下期の主な取組み

- ・各営業拠点に設置されているプライベートキッチンを活用した提案型営業の強化
- ・都市圏の更なる顧客拡大・市場開拓を強化
- ・日清オイリオグループ(株)との連携強化
- ・原価改善プロジェクトの強化により高収益体制の確立

(単位：千円)

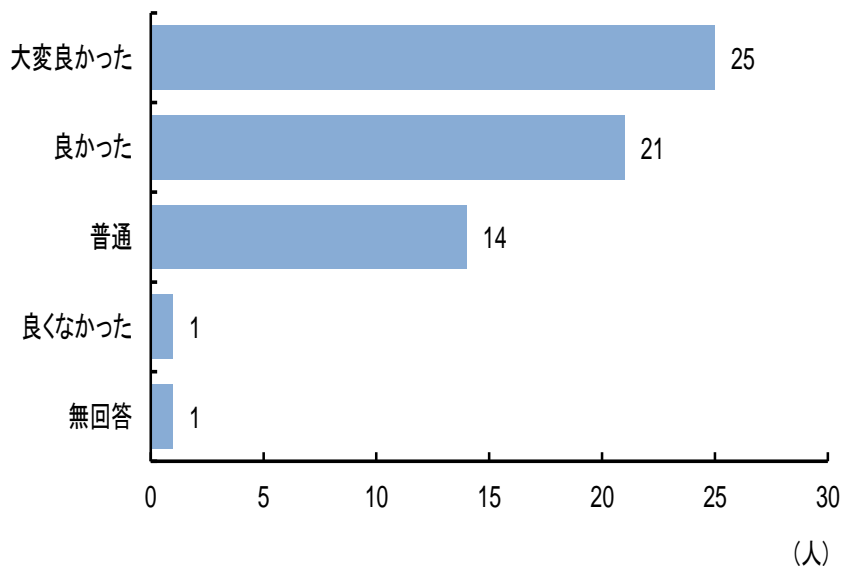


下期の主な取組み

- ・ 主要都市圏を中心とする営業範囲の拡大
- ・ USDA認証製品を活用した差別化戦略

1. 平成30年3月期第3四半期連結決算概要
2. 平成30年3月期 業績予想
3. 第3四半期トピックス（参考）

会社説明会の内容について(アンケート結果)



個人投資家向け説明会の様子（会場：SMBC日興証券(株)札幌支店）

平成29年12月22日(金) SMBC日興証券(株)札幌支店において「個人投資家向け説明会」を開催し、約70名の個人投資家の皆様にご参加を頂きました。

説明会では、社長の和山より会社概要や事業の強み、グローバル展開、業績、中期経営計画に基づいた今後の成長戦略について説明を行い、当社グループの理解を深めて頂きました。

今後も定期的に個人投資家の皆様を対象に会社説明会を実施し、当社グループについての理解を深めて頂く機会を設け、より良い信頼関係の構築に努めてまいります。

テキサス州オースチン市にて 海外初のラーメン産業展【RAMEN EXPO USA】を開催致しました。



平成29年10月9日より2日間、テキサス州オースチン市にて海外初のラーメン産業展を開催致しました。現地でも大変注目を集め、アメリカ大手報道会社であるFOX TVもその様子取材に来ており、ニュースとして放送されました。

来場者は4,000人を超え、北米圏におけるラーメン市場の盛り上がりを感じる事ができるイベントとなりました。

- ◆本資料は情報提供を目的としたものであり、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。投資を行う際は、投資家様ご自身の判断と責任で投資なさるようお願い致します。当社の株式のご購入にあたっては各証券会社にお問い合わせください。
- ◆本資料の内容には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、このような記述は将来の業績を保証するものではありません。
- ◆本資料の内容は、現時点で入手可能な情報や、合理的と判断した一定の前提に基づいて策定した数値であり、潜在的リスクや不確実性などを含んでいることから、その達成や将来の業績を保証するものではありません。また、予告なしに内容が変更または廃止される場合がございますので、あらかじめご了承ください。

本資料に関するお問合せ



IR担当：武田、藁谷

TEL：0134-62-0505

E-mail：IR@wakoushokuhin.co.jp